

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名		地域分権推進事業			財務会計上の事業名	地域分権推進事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号		4	1	1	1	担当部署名 地域分権・協働課
総合計画の体系	章	第4章みんなで作る分権で躍進するまち				
	節(施策)	第1節地域分権の推進				
	項目	項目1 地域分権制度の周知徹底				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	地域分権制度の目的・基本理念の周知徹底を図るため、各種イベントや広報を通して、制度の認知度を高める。
めざす姿(目標)	より多くの市民が参画することで、地域分権制度を充実させる。
事業の対象(誰を、何を)	市民
事業の手段・方法(どのように)	地域分権活動発表会などの開催により、協議会への活動の理解を深め、会員の固定化、高齢化などの解消へつなげる。
実施形態(直営/委託)	一部委託
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値 (活動・成果)	
	(決算)	(決算)	(予算)		
事業費(千円) A	5,540	14,271	8,200		
主な内訳	修繕料	2,060	9,917	4,146	
	建物借上料	2,000	2,000	2,000	
	交付金	1,100	1,100	1,100	
財源	国・府支出金				☆成果の達成状況 C.判断できない
	地方債				
	その他 (地域分権推進基金利子、地域分権推進基金繰入金)	2	2,327	41	☆目標達成のための有効な事業内容となっているか B.改善の余地がある
	うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか B.改善の余地がある
	一般財源 C	5,538	11,944	8,159	・上記「有効性・効率性」選択の理由 コロナ禍の影響で「地域分権活動発表会」は開催できず、今後の開催について、リモート配信等も含め、より多くの市民の方に認知いただくよう検討が必要と考える。
一般財源比率 C÷A	100.0%	83.7%	99.5%		
受益者負担率 B÷A					

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標の内容	実施計画策定時 (H30年度)	実績 (R元年度)	目標値 (R4年度)
認知度	38.4%	-	50.0%

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>制度のあり方について、地域の人たちと意見交換を行い見直していくもの。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>若年層の会員が少なく、次世代のリーダーが育っていない地域が多い。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>その他</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 制度のあり方について、地域の人たちと意見交換を行い見直していくもの。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	地域コミュニティ推進協議会強化事業				財務会計上の事業名	地域分権推進事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	4	1	2	1	担当部署名	地域分権・協働課
総合計画の体系	章	第4章みんなで作る分権で躍進するまち				
	節(施策)	第1節地域分権の推進				
	項目	項目2地域コミュニティ推進協議会の体制の強化				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	地域コミュニティリーダー養成講座の実施、また地域の各種団体との連携を図る場の提供を行う。
めざす姿(目標)	各団体との連携体制の強化や協議会員数の増加により、地域分権制度の深化、コミュニティの活性化を図る。
事業の対象(誰を、何を)	市民
事業の手段・方法(どのように)	地域コミュニティリーダー養成講座などの開催により、協議会への参画者を増やし、体制の強化を図る。
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値 (活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時 (H30年度)	実績 (R元年度)	目標値 (R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	(地域分権推進事業に重複)				協議会員数	474人	457人	550人
主な内訳				☆成果の達成状況				
財源	国・府支出金			☆目標達成のための有効な事業内容となっているか ☆事業は効率的に実施できているか ・上記「有効性・効率性」選択の理由	B.順調に推移していない コロナ禍の影響で「地域コミュニティリーダー養成講座」は開催できず、会員数が減少しているため。 B.改善の余地がある B.改善の余地がある 制度のあり方について、地域の人たちと意見交換を行い、組織の再編に向けて調整中であるため。			
	地方債							
	その他()							
	うち受益者負担 B							
	一般財源 C							
一般財源比率 C÷A								
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>制度のあり方について、地域の人たちと意見交換を行い見直していくもの。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>若年層の会員が少なく、次世代のリーダーが育っていない地域が多い。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>その他</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 制度のあり方について、地域の人たちと意見交換を行い見直していくもの。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	地域コミュニティ推進協議会提案事業				財務会計上の事業名	地域分権推進事業 他29事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	4	1	3	1	担当部署名	地域分権・協働課 他18課
総合計画の体系	章	第4章みんなで作る分権で躍進するまち				
	節(施策)	第1節地域分権の推進				
	項目	項目3地域に根ざした地域分権制度の確立				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	「自分たちのまちは自分たちでつくりよう」をキーワードに、地域から提案された各種事業を実施する。
めざす姿(目標)	提案事業の実施により、地域の課題解決を図るとともに、お任せ民主主義からの脱却を図る。
事業の対象(誰を、何を)	各地域コミュニティ推進協議会からの提案
事業の手段・方法(どのように)	提案事業の実施
実施形態(直営/委託)	
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値 (活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時 (H30年度)	実績 (R元年度)	目標値 (R4年度)	
	(決算)	(決算)	(予算)						
事業費(千円) A	76,683	85,414	105,496	主 な 内 訳	提案事業数	204件	205件	—	
補助金	42,640	40,381	49,909						
修繕料	21,289	30,416	36,867						
☆成果の達成状況					A.順調に推移している				
財 源	国・府支出金			・上記「達成状況」選択の理由	各地域コミュニティ推進協議会からの提案に基づき事業実施。				
	地方債				☆目標達成のための有効な事業内容となっているか				
	その他(地域分権推進基金繰入金)	4,040	5,460		10,267	B.改善の余地がある			
	うち受益者負担 B					☆事業は効率的に実施できているか			
	一般財源 C	72,643	79,954		95,229	B.改善の余地がある			
一般財源比率 C÷A	94.7%	93.6%	90.3%	・上記「有効性・効率性」選択の理由	制度のあり方について、地域の人たちと意見交換を行い見直しているため。				
受益者負担率 B÷A									

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>制度のあり方について、地域の人たちと意見交換を行い見直していくもの。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>地域コミュニティ推進協議会の参加者が固定化されていること。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>その他</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 制度のあり方について、地域の人たちと意見交換を行い見直していくもの。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	地域分権推進基金積立事業				財務会計上の事業名	地域分権推進基金積立事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	4	1	3	2	担当部署名	地域分権・協働課
総合計画の体系	章	第4章みんなでつくる分権で躍進するまち				
	節(施策)	第1節地域分権の推進				
	項目	項目3地域に根ざした地域分権制度の確立				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	地域分権推進基金の積立を行う。
めざす姿(目標)	積み立てた基金を適切に管理し、中長期的な計画に基づき、効率的・計画的な事業提案を行う。
事業の対象(誰を、何を)	各協議会の事業提案について市長が定める額から当該年度において各協議会が提案する事業に係る予算額を差し引いた額のうち、各協議会が当該年度の翌年度以後の年度において提案する事業に要すると認める額の総額
事業の手段・方法(どのように)	池田市地域分権推進基金に積み立て
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)				
	(決算)	(決算)	(予算)									
事業費(千円) A	16,651	12,379	8,271	基金充当事業数	2件	5件						
主な内訳	積立金	16,651	12,379									
☆成果の達成状況					A.順調に推移している							
財源	国・府支出金			☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	☆事業は効率的に実施できているか	各協議会からの提案額に基づき積立。						
	地方債					A.有効的である(改善の余地がない)						
	その他()					A.効率的である(改善の余地がない)						
	うち受益者負担 B					各協議会が適切に基金積み立てを実施しているため。						
一般財源 C	16,651	12,379	8,271	上記「有効性・効率性」選択の理由								
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%									
受益者負担率 B÷A												

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>制度のあり方について、地域の人たちと意見交換を行い見直していくもの。</p>	
目標達成に向けた課題	課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性
	<p>その他</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》</p> <p>制度のあり方について、地域の人たちと意見交換を行い見直していくもの。</p>